

介護支援専門員調査書

入所希望者氏名：

記入年月日： 年 月 日

1 本人の状況

要介護度	5	4	3	2	1	()
認知症による行動障害	非常に多い	やや多い	少しあり	なし		

2 在宅サービスの利用度

在宅サービス利用限度額割合	60%以上	50%以上	30%以上	30%未満
---------------	-------	-------	-------	-------

在宅サービス利用限度額割合の判断は、入院（所）前の状況や現在の申込者の心身の状況を勘案し、12点（50%以上）を限度に算定する。

3 主たる介護者・家族等の状況

世帯の状況	独居世帯	高齢者のみの世帯	その他（ ）		
主たる介護者の年齢・続柄	歳（続柄： ）				
介護者の障害・疾病	なし	あり（ ） 介護困難 ・ 多少は介護 ・ 介護は可能			
介護者の就労	なし	あり（職種等職務 日/週、時間/日）			
介護者の育児・家族の病気	なし	常時育児看病 半日育児看病 臨時育児看病 あり（ ）			
他の同居介護補助者	なし	ほとんどなし	随時あり	常時あり あり（続柄： 日/週程度）	
別居血縁者の介護協力	なし	ほとんどなし	随時あり	常時あり あり（続柄： 日/週程度）	

介護支援専門員特記欄（本人状態、介護者状況、世帯状況等）

作成者所属		担当者		印
-------	--	-----	--	---

可能な限りインタビュー、ケースサマリー等の添付をお願いいたします。

【作成上の留意事項】

1 「認知症による行動障害」

認定調査における行動に関連する項目のうち

（「夜間不眠や昼夜が逆転している」・「一人で外に出たがり目が離せない」・「火の不始末や火元の管理ができない」・「ろう便行為等の不潔行為がある」・「異食行為がある」）

に関する項目に「ある」又は「ときどきある」が1つ以上ある場合で

「非常に多い」...毎日ある場合 / 「やや多い」...週に1～2以上ある場合

「少しあり」...月に1～2以上ある場合 を目安として判断する。

2 在宅サービスの利用度

サービス利用表別表に基づく支給限度基準額に対するサービス利用度の割合をいう。

（サービス利用単位数 / 区分支給限度基準額単位数 × 100）

算定の期間については概ね3か月を標準とし、平均利用割合により判断する。

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与

3 「介護者の障害・疾病」

「介護は困難」..... 介護者が障害や疾病のため要介護者の排泄、入浴、移動、着替え、食事などのADL全般の援助が困難な場合

「多少は介護」..... 介護者が障害や疾病のため概ね2つ程度のADL援助ならばできる場合

「介護は可能」..... 介護者が障害や疾病はあるがADL全般の援助・介護が可能な場合

を目安として判断する。

他の医療機関や入所施設等に現在入院（所）している申込者の評価基準算定は、原則として退院（所）後に予想される状況で判断する。